

## 【教育委員会議事録】令和元年7月定例会

開催日時	令和元年7月30日（火） 9：30～14：10
開催場所	下関市教育センター 3階中研修室
出席委員の氏名	児玉 典彦（教育長） 小田 耕一（教育長職務代理者） 藤井 悦子 吉村 邦彦 児島 まさ子
欠席委員の氏名	欠席なし
委員及び傍聴人を除くほか議場に参加した者の氏名	教育部長 竹内 徹 教育部次長 藤田 信夫 教育部次長 三井 清 教育調整監 萬松 佳行 教育政策課長 田村 尚美 学校教育課長 大田 一夫 教育指導監（生徒指導推進室長） 瀬下 信二 教育研修課長 岡 良治 学校支援課長 大賀 健 学校保健給食課長 山本 匡章 生涯学習課長 異儀田 正康 文化財保護課長 濱崎 真二 教育部参事（図書館政策課長事務取扱） 鶴田 将之 教育部参事（美術館長・歴史博物館副館長事務取扱） 中村 美幸 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム館長 松下 孝幸 下関商業高等学校事務長 富田 智雄 菊川教育支所長 山本 洋美 豊田教育支所長 石田 正成 豊浦教育支所長 日吉 克浩 豊北教育支所長 西村 敬教 教育政策課長補佐 内田 泰敬 教育政策課主査 倉前 啓介 教育政策課主任 峰岡 優介
傍聴人の数	傍聴人なし

次第（目次）

【開会の宣告】	……………	P 3
【署名委員の指名】	……………	P 3
【教育長報告】	……………	P 3
【議案審議】		
《非公開》		
第50号 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する 点検評価報告書について	……………	P 10
《非公開》		
第51号 令和2年度使用下関市立中学校教科用図書の採択について	……………	P 14
《非公開》		
第52号 令和2年度使用下関市立小学校教科用図書の採択について	……………	P 27
第53号 下関市立考古博物館協議会委員の委嘱について	……………	P 4
第54号 下関市菊川ふれあい会館運営審議会委員の委嘱について	……………	P 5
第55号 豊田ホテルの里ミュージアム運営協議会委員の委嘱について	……………	P 6
第56号 豊浦四町公民館運営審議会委員の委嘱について	……………	P 6
【報告事項】		
重要文化財旧下関英国領事館の開館時間の変更について	……………	P 7
国指定天然記念物「川棚のクスの森」の枯損対策調査指導について	……………	P 8
【その他】	……………	P 9
【閉会の宣告】	……………	P 43

**【開会の宣告】**

児玉典彦(教育長)

それでは、教育委員会 7 月定例会を開催いたします。

**【署名委員の指名】**

児玉典彦(教育長)

本日の議事録の署名委員は藤井委員、吉村委員をお願いいたします。

本日の日程は、日程 1 の議案が 7 件、日程 2 の報告事項が 2 件、日程 3 その他となっています。この日程に関連して、最初に委員の皆さんにお諮りします。議案第 5 0 号「教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検評価報告書について」、議案第 5 1 号「令和 2 年度使用下関市立中学校教科用図書の採択について」及び議案第 5 2 号「令和 2 年度使用下関市立小学校教科用図書の採択について」は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 1 4 条第 7 項の規定により会議を公開しないこととしたいと存じますが、委員の皆様よろしいでしょうか。

(はい)

児玉典彦(教育長)

それでは非公開とし、議事録についても非公開といたしたいと存じますが、委員の皆様よろしいですか。

(はい)

児玉典彦(教育長)

また非公開とすることといたしました議案は、日程 3 その他が終わった後に審議を行うこととしたいと存じますが、委員の皆様よろしいですか。

(はい)

児玉典彦(教育長)

それでは、そのように進めてまいります。

**【教育長報告】**

児玉典彦(教育長)

それでは、議案第 5 3 号の審議に入る前に教育長報告を行います。資料をご覧ください。本日は議案審議が長くなりそうですので、なるべく短く報告したいと思います。まず、6 月 2 8 日(金) 2 0 1 9 年度つなぐ生徒指導研修会の開会で挨拶をしました。今年度から教育祭をとりやめましたので、教職員の前で私の思いを伝えるという場がなくなりました。教育長だよりを書いています。できたら教職員に直接自分の思いや教育のことについて伝えたいと思っていますので、教育研修課、あるいは学校教育課以外の各課でも教職員の研修会等があるときには、ぜひ声を掛けてください。冒頭の挨拶は可能な限り行いたいと思いますので、よろしくお願いします。6 月 2 9 日(土) 室積小中学校人権教育講演会の講師を頼まれて、光市まで行ってきました。子供達がとても落ち着いており、小学 4 年生以上の子供達に話をしましたが、最後までよく話を聴いていたのには感心しました。6 月 3 0 日(日) よい歯のコンクール下関地区大会がありました。小学校の部、中学校の部とあるのですが、幼児の部はお母さんと一緒に審査を受けるということで、お母さんの歯の状態が良い子は、その子の口腔状態も良いのだなと思いました。本日の山口新聞にも口腔状態の格差が段々広がっているということがあり、家庭に任せるだけではなく、学校でも何らかの取り組みをしなければならないのかなと感じたところです。教職員評価にかかる校長

面談を7月1日(月)から12日(金)まで行いました。今年度は中学校ごとに、来年度から小・中学校が一貫校に変わることを想定して、グランドデザインを描くという作業をしてもらいながら、その様子を見て、コメントをするという方法で面談を行いました。随分と校長先生方同士も勉強になったようで、私達も勉強になりました。7月2日(火)は、亀山八幡宮林間学校打ち合わせということで、この会には、今年度から名陵中学校・日新中学校の校長先生も参加して、すごく盛り上がりました。7月3日(水)清末小学校に研修支援訪問に行きました。フォローアップ研修の効果が出ているのか、清末小学校だけではなく、色々な学校に行って、授業を見たときのフォローアップ研修を終えた4年目の先生が力をつけていることに大変驚いています。7月4日(木)教務主任のための教育課程研修会で挨拶、7月5日(金)中核市教育長会、ここでは、教科書制度について文科省教科書課の課長さんから、随分丁寧な説明を受けて、教科書の制度の仕組みがよく分かりました。7月7日(日)は、安岡どろんこフェスタ21に参加して、挨拶をしたところです。安岡どろんこフェスタが終わって、そのまま地域を明るくする運動推進大会が吉見公民館でありましたので、それに参加。その後すぐに、第27回キラキラコンサートに行き、1時間ほど合唱を聴くことができました。私が感心したのは、舞台袖の階段を登るのに介助が付かなければ難しいほどの高齢者の方が、ステージの上では真っ直ぐ立って、堂々と歌っている姿です。すごいなと感心しました。あと20年経ったら私もそういう年齢になるのですけれど、果たしてステージの上に立てるかどうか、とても疑問に思いました。7月8日(月)は、教科書採択協議会、7月9日(火)日本公衆電話協会からネットの安全ガイドBOOKを中学1年生全員分いただきました。これは、とてもうまくできていて、大人が読んでも役に立つなと思いました。7月10日(水)は山口県教育委員会移動教育委員会がこのセンターでありました。7月11日(木)県都市教育長会議ということで、それぞれの教育長が抱えている色々な課題を含めて情報交換ができて、大変有意義でした。7月12日(金)「横山眞佐子と3人のゆかいな仲間たち」の開会式がありました。期間中には色々なイベントがありますが、私も8月13日(火)に横山眞佐子さんとトークショーに出ますので、よかったら聞いてみてください。7月13日(土)下関市PTA指導者研修会がこのセンターでありました。これはPTA主催で行う研修会で、そのこと自体に意義があるなと思ったところです。同日、城下町長府ふるさと祭りがあり、雨のため少々寂しくはなりましたが、中学生が司会をしたり、テントを張ったりと大活躍でした。地域の方もそのことを大変喜んでいました。7月16日(火)は、青少年健全育成市民会議総会がセンターでありました。7月18日(木)中国地区市町村教育委員会連合会研修大会が萩市でありました。小田委員、藤井委員には、遠いところを参加していただきありがとうございました。7月22日(月)ALTの離任式、同日こくみん共済COOP山口から横断旗を561本いただきました。7月25日(木)山口県学校保健連合会総会ということで、開会の挨拶をしました。子供達の安全を守るために私達の目に見えないところで、たくさんの方が頑張っているんだなと強く感じたところです。同日、人類学ミュージアム運営協議会があり、松下館長の熱い思いが伝わる運営協議会でしたが、お金がないので申し訳ないなと思いながら参加していました。7月29日(月)は、特別支援教育スキルアップ研修会で挨拶、その後の研修会に私も参加して随分勉強になりました。それから恒例の突然学校訪問はそこに書いてある6つの小・中学校を回りました。以上で報告を終わりますが、何かご質問はありますか。

(ありません)

児玉典彦(教育長)

ないようでしたら、日程1の議案審議に入ります。議案第50号、第51号及び第52号は、先ほど申しましたように、最後に回させていただきます。

**【議案審議】**

議案第53号 下関市立考古博物館協議会委員の委嘱について

児玉典彦(教育長)

議案第53号「下関市立考古博物館協議会委員の委嘱について」を、文化財保護課お願いします。

濱崎真二(文化財保護課長)

文化財保護課でございます。よろしくお願いいたします。それでは、議案第53号「下関市立考古博物館協議会委員の委嘱について」ご説明いたします。資料の2ページをご覧ください。下関市立考古博物館の運営についてご意見をいただくため、博物館に、下関市立考古博物館協議会を設置しております。資料に、協議会委員候補者名簿を掲載しておりますのでご覧ください。左端の欄に区分がございます。協議会は、学識経験者、社会教育及び学校教育の関係者、及び家庭教育の向上に資する活動を行う方をお願いしております。下関市立考古博物館の設置等に関する条例におきまして、協議会は10名以内で組織し、委員の任期は2年と定めております。このたび、令和元年7月31日をもって、現在の委員の任期が満了するため、新たに、令和元年8月1日から、令和3年7月31日までを任期とする委員を委嘱しようとするものでございます。現在は9名の委員をお願いしておりますが、再任につきまして、すべての委員から内諾をいただきましたので、下関市立考古博物館協議会委員として委嘱したいと考えております。以上でございます。ご審議の程よろしくお願いいたします。

児玉典彦(教育長)

ただ今説明がありましたが、ご質問、ご意見があればお願いします。

(ありません)

児玉典彦(教育長)

ないようですので、議案第53号について、承認としてよろしいですか。

(はい)

児玉典彦(教育長)

それでは承認といたします。

**【議案審議】**

議案第54号 下関市ふれあい会館運営審議会委員の委嘱について

児玉典彦(教育長)

続きまして、議案第54号「下関市菊川ふれあい会館運営審議会委員の委嘱について」、菊川教育支所お願いします。はい、山本支所長。

山本洋美(菊川教育支所長)

はい、菊川教育支所です。よろしくお願いいたします。それでは、議案第54号「下関市菊川ふれあい会館運営審議会委員の委嘱について」を説明いたします。資料は4ページです。現在委嘱しております委員の任期満了に伴い、令和元年8月1日から2年間の任期で新しく委員を委嘱しようとするものでございます。この下関市菊川ふれあい会館運営審議会は、会館の管理運営に関することや、利用計画に関することなどを審議いただくものです。なお、審議会委員の人数は現行の委員の人数と同じ10人としております。また、委員については、5ページに委員名簿(案)を載せておりますが、菊川中学校の校長、菊川の自治連合会長、PTA連合会長、婦人会長、社会教育委員、民生児童委員協議会会長、菊川文化協会会長とふれあい会館の使用団体から代表者を1名選出しております。よろしくご審議の程よろしくお願いいたします。

児玉典彦(教育長)

ありがとうございました。ただ今説明がありましたとおり、新任の方が4名いますが、何かご意見、ご質問がありますか。

(ありません)

児玉典彦(教育長)

ないようでしたら、議案第54号について、承認としてよろしいですか。

(はい)

児玉典彦(教育長)

それでは、議案第54号は承認といたします。

**【議案審議】**

議案第55号 豊田ホテルの里ミュージアム運営協議会委員の委嘱について

児玉典彦(教育長)

続いて、議案第55号「豊田ホテルの里ミュージアム運営協議会委員の委嘱について」、豊田教育支所、石田支所長お願いします。

石田正成(豊田教育支所長)

豊田教育支所でございます。よろしくお願ひいたします。資料7ページから9ページをお願いいたします。議案第55号「豊田ホテルの里ミュージアム運営協議会委員の委嘱について」ご説明いたします。令和元年7月31日で任期満了となる豊田ホテルの里ミュージアム運営協議会委員を豊田ホテルの里ミュージアムの設置等に関する条例第16条の規定により、別紙豊田ホテルの里ミュージアム運営協議会委員名簿(案)のとおり10名の方を委員に委嘱しようとするものでございます。10名のうち9名の方は再任で、5番の山下景子さん、豊田地区子ども会連合会副会長が新任でございます。なお、委員の任期は2年間で、令和元年8月1日から令和3年7月31日までとなっております。以上ご審議の程よろしくお願ひいたします。

児玉典彦(教育長)

ありがとうございました。ただ今、運営協議会委員について説明がありましたが、このことについて、ご質問、ご意見がありますか。

(ありません)

児玉典彦(教育長)

特にないようですので、議案第55号は、承認としてよろしいでしょうか。

(はい)

児玉典彦(教育長)

それでは、議案第55号は承認とします。

**【議案審議】**

議案第56号 豊浦四町公民館運営審議会委員の委嘱について

児玉典彦(教育長)

続いて議案第56号「豊浦四町公民館運営審議会委員の委嘱について」豊北教育支所、西村支

所長お願いします。

西村敬教(豊北教育支所長)

豊北教育支所です。よろしくお願いいたします。議案第56号「豊浦四町公民館運営審議会委員の委嘱について」ご説明いたします。資料の10ページをご覧ください。本議案は、社会教育法第30条及び下関市立公民館の設置等に関する条例第4条の規定に基づき、委嘱しております委員の任期が令和元年7月31日をもって満了することから11ページの名簿のとおり新たに14名の委員を委嘱するものでございます。委員の任期は、令和元年8月1日から令和3年7月31日の2年間で、候補者14名のうち10名の方が再任、4名の方が新任となっております。以上、簡単ではございますがご説明いたしました。ご審議の程よろしくお願いいたします。

児玉典彦(教育長)

ありがとうございました。ただ今、豊浦四町公民館運営審議会委員の委嘱について説明がありましたが、ご質問、ご意見がありましたらどうぞ。吉村委員。

吉村邦彦(教育委員)

1つ質問があります。委員の四町の人数配分がばらばらですが、何か理由があるのでしょうか。

児玉典彦(教育長)

はい、西村支所長。

西村敬教(豊北教育支所長)

四町で公民館の数等が違いますので、これを設置するときに、公民館数等で人数の割り振りをし、各町基本5名以内ということで今の2名、4名等委員数が決まっております。以上です。

児玉典彦(教育長)

よろしいでしょうか。質問、意見がないようですので、議案第56号「豊浦四町公民館運営審議会委員の委嘱について」は承認としてよろしいですか。

(はい)

児玉典彦(教育長)

それでは承認といたします。

<b>【報告事項】</b>
---------------

重要文化財旧下関英国領事館の開館時間の変更について
---------------------------

児玉典彦(教育長)

続きまして、日程2報告事項に入ります。まず、「重要文化財旧下関英国領事館の開館時間の変更について」文化財保護課、お願いします。

濱崎真二(文化財保護課長)

文化財保護課でございます。資料12ページをご覧ください。重要文化財旧下関英国領事館の開館時間の変更について、ご報告いたします。重要文化財旧下関英国領事館の設置等に関する条例第6条において、旧下関英国領事館の開館時間を午前9時から午後5時までと定めています。7月30日及び8月13日は、両日とも近隣で花火大会等が開催されることから、多くの集客効果が見込めます。また、施設の設置目的である施設公開による学術的価値を広く周知するまたとない機会であり、地域の賑わい創出にも寄与することから、開館時間を午後8時までで延長させていただきたいと考えています。以上、ご報告を終わります。

児玉典彦(教育長)

ただ今説明がありましたが、開館時間の変更についてご質問、意見があればどうぞ。はい、吉村委員。

吉村邦彦(教育委員)

問題ないと思いますけれども、令和元年7月30日というと本日ですので、前の定例会に議案として提出されるべきだったと思っております。以上です。

児玉典彦(教育長)

濱崎課長。

濱崎真二(文化財保護課長)

ご指摘のとおりです。以後、留意したいと思います。

児玉典彦(教育長)

それでは前もって報告して欲しいということで、どうかよろしくお願ひします。その他よろしいですか。

(はい)

児玉典彦(教育長)

ないようでしたら、本件について報告済みといたします。

**【報告事項】**

国指定天然記念物「川棚のクスの森」の枯損対策調査指導について

児玉典彦（教育長）

続いて「国指定天然記念物「川棚のクスの森」の枯損対策調査指導について」豊浦教育支所、日吉支所長お願ひします。

日吉克浩(豊浦教育支所長)

豊浦教育支所・日吉でございます。よろしくお願ひいたします。「国指定天然記念物「川棚のクスの森」の枯損対策調査指導について」ご報告いたします。それではお手元の資料13ページをご覧ください。川棚のクスの森においては、平成29年7月の枯損状況を確認以降、関係各所及び有識者と連絡調整を図りつつ、枯損対策措置を実施しております。このたびの調査指導は、平成29年以降継続実施している文化庁推薦有識者による調査指導について、枯損発生から約2年が経過した現状の確認を求め、今後の保護措置にかかる協議を実施したものでございます。このたびもご参加いただきました文化庁推薦有識者は、NPO法人樹木生態研究会 堀 大才氏、公益財団法人日本花の会、和田 博幸氏のお二人です。なお、調査指導に伴い、実質的な枯損対策措置の施工を担っていただいている山口県樹木医会有志に参加を求め、多面的な議論を深めるように配慮をいたしました。また、地元自治会、クスの森を守る会と山口県教育庁社会教育文化財の担当者のオブザーバー参加及びこのほか、地元まちづくりグループ発揮会より3名の傍聴がありました。次に14ページをご覧ください。概要でございます。現況については前回の調査指導で確認した状態よりも、胴吹き枝が増え、高所にも繁茂しており、葉の総量も増加していることから少しずつ活力が増しているように見えるということでございました。今後の留意ポイントとして、数年は胴吹きした後に枯れる枝も出るが、根元近くの太い根から細い根が多数発生すると、胴吹き枝に水分が供給されるようになり、枯れなくなるということでございました。散水作業は、水圧穿孔部分に集中的に実施すると効果的であり、立入禁止区域は、範囲は基本的に枝振り先端

部の下の範囲を網羅すること、指定地外の根系の状況把握は、水圧穿孔の施工範囲の見極めのためにも、実施した方がよいということ、胴吹き枝の一部は将来的に既存枝と衝突することが懸念されるといってございました。今後の保護措置についてです。水圧穿孔はこれまでの3回実施した範囲に加えて、クスの木主幹部周辺にさらに密度を高めて実施すると良いということでした。芝生部分は盛り土のため、浅い穿孔では効果が余り期待できない可能性があるため、根の分布状況を把握した上で実施するほうがより効果的であるということでした。枝の剪定作業につきましては、樹木の生理面から考えた場合は特に実施する必要はないということです。ただし枯れた部分が折れて落下し、胴吹き枝を傷つけたり生きた部分の樹木を剥離させたりする可能性はあるということで、現状の立入禁止範囲の安全対策は検討を要するということでございました。今後も、じっくり観察を続け、衰退の予兆等、変化を見逃さないようにすることが重要であります。教育委員会としては、水圧穿孔を含めた今後の措置は文化庁と措置の可否を含めて調整検討してまいります。また、指定地外の部分剪定等の実施については改めて文化庁推薦有識者の現地指導を求める必要があると認識しております。以上報告を終わらせていただきます。よろしくお願いいたします。

児玉典彦(教育長)

ありがとうございました。川棚のクスの森の枯損対策の状況について説明がありましたが、ご意見、ご質問があればお願いします。

(ありません)

児玉典彦(教育長)

根気の要る作業が続くと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。以上で報告済みとします。

<b>【その他】</b>
--------------

児玉典彦(教育長)

日程3その他ですが、何かございますか。はい、吉村委員。

吉村邦彦(教育委員)

ほぼ終わっていると思うのですが、エアコン設置の進捗状況をご報告できればお願いしたいと思います。

児玉典彦(教育長)

大賀課長、お願いします。

大賀健(学校支援課長)

小・中学校のエアコンにつきましては、7月5日時点で小学校1校を除きまして、すべてで運転が可能となりました。その後、7月11日に残りの1校についても運転ができるようになりまして、すべての学校で稼働しているという状況になります。以上です。

吉村邦彦(教育委員)

ありがとうございました。感謝しています。

児玉典彦(教育長)

大変ご苦勞をお掛けしました。ありがとうございました。そのほかに何かございますか。

(ありません)

児玉典彦(教育長)

なければ、次回の日程ですが、8月の教育委員会定例会は、8月22日(木)午前9時30分  
下関市教育センター3階中研修室にて開催の予定です。

《非公開部分始まり》

**【議案審議】**

議案第50号 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検評価報告書について

児玉典彦(教育長)

非公開案件である議案第50号の審議に移ります。議案第50号「教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検評価報告書について」、藤田部次長お願いします。

藤田信夫(教育部次長)

それでは議案第50号「教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検評価報告書について」ご説明いたします。別冊1の資料をお願いいたします。本案につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果を報告書として取りまとめたものでございます。本日の教育委員会における審議を経まして、9月の下関市議会定例会にて報告を行い、その後公表する予定としております。それではご説明いたしますので報告書の方をお願いいたします。報告書の目次の次になりますが、1ページをお願いいたします。1ページには点検及び評価の概要を掲載しております。点検評価につきましては、1に掲げておりますとおり、教育委員会の活動状況及び下関市教育振興基本計画に掲げる主要施策、全部で38の主要施策になりますが、これらを対象として実施しており、この点検評価は2にございますように、効果的な教育行政の推進のためであるとともに、公表することで、説明責任を果たすことを目的として実施しているものでございます。評価につきましてはこれまでと同様に★の数による進捗状況によりお示しをしております。2ページから6ページには、会議の開催の状況等下関市教育委員会の活動状況をまとめております。7ページをお願いいたします。主要施策の評価結果概要については7ページ上段の表でお示ししているのとおり、38の主要な施策のうち、計画どおりで順調である施策が18施策、一部に課題があるが概ね順調である施策が20施策となっており、全体として、平成30年度の教育委員会の主要な施策は概ね取り組みが進んだと評価をしております。ただし、個別の取り組みで申し上げますと、下段の表にお示ししておりますとおり、★2つの取り組みが基本目標2「学校の教育力を高めます」のところで1つ、基本目標4「生涯を通じて学ぶ機会を提供します」のところで2つの計3取り組みございますので、改善に向けた対応の必要があるというように認識をしておるところでございます。8ページから15ページをお願いいたします。こちらにつきましては主要施策別の評価結果と主な取り組みの★の数による自己評価を一覧表にしてまとめております。なお、11ページと15ページに網掛けをした取り組みがございますが、これらは昨年度から評価が変更した取り組みでございます。16ページをお願いいたします。この16ページ以降105ページまでが、主な取り組みを項目として★の数で自己評価を行い、平成30年度の主要施策別の成果及び評価をまとめたものとなっております。全部で102の主な取り組みがございます。この中より、本日は、昨年度から評価に変更があった取り組み、先程の一覧表にて網掛けを行っている取り組みについてご説明をさせていただきます。恐れ入りますが、61ページをお願いいたします。学校図書の実績の評価につきましては、昨年度の★が4つから、★が3つと評価が下がっております。これは学校図書の蔵書冊数自体は増加しておりますが、市の厳しい財政状況の中、整備費が減少傾向となっていることから、評価を下げたものでございます。今後はより一層の学校図書の充実を図るため、整備予算の確保に努めてまいりたいと考えております。続きまして、75ページをお願いいたします。図書館基本計画の遂行の評価につきましては、昨年度の★3つから★4つへと評価を上げております。平成30年3月に策定しました図書館基本計画に基づき、平成30年度年次計画を策定・遂行することによ

り、図書館サービスの充実を図ったことから、評価を上げたものでございます。続きまして83ページをお願いいたします。美術館の環境整備の評価につきましては、昨年度の★3つから★4つへと評価を上げております。大規模な屋上防水工事を行うことで建物全体の延命化と美術品の収蔵環境の向上を図ったことから、評価を上げたものでございます。続きまして、85ページをお願いいたします。中段にございます考古博物館のリニューアル等の評価につきましては、昨年度の★2つから★3つへと評価を上げております。将来の博物館の方針を含めたリニューアル計画を立案するための現況把握を進め、また地域連携を積極的に推進したことから、評価を上げたものでございます。続きまして88ページをお願いいたします。後段の方にございます、魅力的・効果的な展示の評価については昨年度の★4つから★3つへと評価を下げております。各館におきまして、各種展示を開催しているところでございますが、報告書の90ページから91ページに補足として掲載しておりますように、全体的な入館者数が減少傾向となっていることから、評価を下げているものでございます。今後も施設利用者のニーズを把握し、魅力的な展示活動等の企画運営に取り組み、来館者の増加に努めていくことが必要であると考えておるところでございます。続きまして100ページをお願いいたします。100ページ後段の方にございます国指定三史跡の整備検討の評価につきましては、昨年度の★2つから★3つへと評価を上げております。国指定三史跡につきましては、考古博物館での展示講演活動をはじめ、史跡の道ウォーク等の史跡散策行事の開催、ウェブ上の案内開設及び説明板の設置等を実施し、市民の愛護意識の醸成に努め、今後の史跡等整備公開活用の推進に備えたことから、評価を上げております。以上、説明いたしました6つの取り組みが昨年度より評価に変更があった事業でございます。続きまして学識経験者からいただきました評価についてご説明をいたします。106ページをお願いいたします。106ページに掲載しておりますように、3名の学識経験者の方々からご意見をいただきました。それを掲載しております。この中から4点のご意見をご報告したいと思っております。まず107ページでございます。2主要施策別の成果及び評価についての項目でございますが、その中の基本目標1について最初に掲げております基礎基本の定着と学力の向上につきましては、下関スタンダードの活用や学力向上プランの5つの柱の充実により、成果は上がってきていると評価をいただいております。その上で、全国学力・学習状況調査も貴重なデータであるが、結果に一喜一憂することなく、生徒一人ひとりの変容に努めてほしいとのご意見をいただいております。続いて109ページをお願いいたします。基本目標2のところでございます。ページの上から3つ目のところ、校種間の連携の推進についてはこども園、幼稚園、保育園、小学校及び中学校の滑らかな接続により児童生徒を共同して育てていこうとする取り組みが市内全域で見られるという評価をいただいております。その上で、なぜ小中連携では不十分なのか、小中一貫を目指すのがよいのか、教職員の負担増にならないか検証を待ちたいというご意見をいただいております。続いて110ページをお願いいたします。中段にございます基本目標3についてでございます。このページの一番下のところです。「地域とともにある学校づくりの推進」につきましては、地域によってそれぞれ特色のある活動がなされているものの、地域住民への周知はなされていないと感じるとの意見をいただき、さらにコミュニティ・スクールコーディネーターの研修会を重ねるとともに学校運営協議会委員等の地域と学校をつなぐ研修会もあわせて、より深く進めてほしいとのご意見をいただいております。続いて基本目標4の「生涯を通じて学ぶ機会を提供します」に関しては、112ページの一番下のところでございます。文化財保護活動の推進については、厳しい財政状況下で尽力いただいていることが十分に伝わってきたとの意見をいただいた上で、歴史文化基本構想の策定が今後の重要な課題になると思われるということ、また、市内各地域の多くの人々にワーキンググループに入っていただき、市民参加型あるいは市民主体型の構想策定にしていっていただければと念願しているというご意見をいただいております。学識経験者の意見につきましては、今回4点ご説明させていただきましたが、その他様々なご意見もいただいておりますので、これらを十分に参考として今後の教育施策の一層の推進に努めてまいりたいというように考えております。説明は以上でございます。ご審議の程よろしくをお願いいたします。

児玉典彦（教育長）

ありがとうございました。今点検評価報告書について、かいつまんで説明がありましたが、ご意見、ご質問があればお願いします。吉村委員。

吉村邦彦(教育委員)

はい、幾つか質問があります。17ページのイ) 学力調査の活用というところが★3つになっております。これは後ろの方の美術館の評価等色々なところを見ると、入館客数が減って評価が下がったというような評価もあったんですけど、ここはあくまでも、この学力調査を活用したという評価でよろしいのでしょうか。下の補足を見ると、中学3年生で下関市は全国よりも下回っているという数字で見ると少し評価が高いのかなというような気がしました。調査を活用ということであればこれでいいと思いますけれども、いかがでしょうかというところが1つ目。

それから2つ目が美術館博物館のところ、今回リニューアルをしたり整備をしたり環境整備をしたところで評価が3から4に上がっています。これは来年度以降、なかなかこういった予算を取ることができない中で、単純にこういった整備をしたということによって評価を上げられたんでしょうけども、来年度以降はこの評価がまた下がるというようなことになるのではないかと懸念があります。ですからここはリニューアルをしたことによって入館者数をどれだけ上げられるかっていうことに注力いただきたいなということを思います。以上です。

児玉典彦(教育長)

ただ今の2点について質問がありましたが、まず学力調査の活用について★3つはどうかというご意見でした。岡課長お願いします。

岡良治(教育研修課長)

教育研修課の岡です。学力調査の活用につきまして、この結果自体は、確におっしゃるとおりですけども、本市といたしましては、この結果を個人、それから学校の課題を明確にして、その改善に向けて取り組んでいくという、そちらの方を重要視しております。それから、点数の結果のみではなく、学習意欲等の見えない学力についての課題を明らかにして改善を図っていく、それを年間2回のサイクルを通して進めているというところでこのような評価とさせていただいております。

児玉典彦(教育長)

この学力調査の結果自体については、色々学力格差の問題もあって、数字には出てきませんが、子供達の見えない学力については丁寧に分析をして学校に指導したいと思っていますので、★3つになっています。2つ目の美術館の整備の今後の状況や入館者数について、中村館長お願いします。

中村美幸(教育部参事、美術館長・歴史博物館副館長事務取扱)

はい、美術館の環境整備につきましてですけども、これまでも計画的に進めておまして、今後も進めていくことになるかと思っております。平成30年度の屋上防水工事につきましては、本当に喫緊の深刻な課題でございましたので、その整備が済んだということで、とりあえずの★4つかと思っておりますし、今後整備が進んだ環境の中で入館者増に努めていきたいというように思っております。

児玉典彦(教育長)

ありがとうございました。よろしいですか。他にご意見、質問はありますか。はい、藤井委員。

藤井悦子(教育委員)

110ページの一番下には、地域とともにある学校づくりの推進についてはコミュニティ・スクール充実の年と位置づけ、地域の子どもは地域で育てるという願いをより浸透してほしいものであるとあります。しかしながら、地域によってそれぞれ特色のある活動がなされているものの、

地域住民への周知がなされていないと感じるという意見があり、私も同感でした。コーディネーターさんが学校と地域を繋ぐことに尽力されてはいるものの、それを知っているのがほんの一部の方だけでした。地域の方が学校で今何をしているのか分からないという意見を聞くことができました。コーディネーターさんには、さらに尽力していただいて、地域全体で子供達を見守る・助けるということをもっと続けていただきたいと思っています。以上です。

児玉典彦（教育長）

今の藤井委員の意見はそのとおりですので、今、このことを改善しようと取り組んでいるところです。その他ございますか。はい、吉村委員。

吉村邦彦(教育委員)

112ページの一番下のところを先程言われていましたけれども、下関市には文化財と言われるものがたくさんあり、歴史的特性も認知していただくことが極めて有用であるというようなコメントもいただいていますし、これに関わった多額の費用を要する保護措置はもとより、特に埋蔵文化財に対する適切な保護と活用に伴う発掘調査及び～とあり、表には現れないご苦労があったと思われますということも書かれています。下関市は本当に見えないところで皆様も一生懸命頑張られて、文化財の保護や先ほど藤井委員も言われたような子供達の教育も含めてやられているということをもっと、やはりない袖は振れないでしょうけれども、ここはしっかりと予算を付けていただくなどして、こういったことにもう少し注力をどんどん図っていただければいいなというように思っています。

児玉典彦（教育長）

ありがとうございました。文化財保護課、何かございますか。

濱崎真二（文化財保護課長）

今ご指摘いただいた内容につきましては、水面下での余り見えない部分の業務というような話もありましたけれども、なるべく文化財保護を実際にやっていること自体、地域での取組み自体の重要性であったり、その意味というものをなるべく市民の方々に直接理解いただけるような情報発信についても努めてまいりたいというように考えております。

児玉典彦（教育長）

お金のない中、濱崎課長さんには大変なご苦労をおかけしますが、よろしく申し上げます。その他にございますか。はい、児島委員。

児島まさ子(教育委員)

図書の方についてご質問したいと思います。基本計画ということで、この定例会でも何度かご報告いただいていると思いますけれども、それが遂行されているということで、★が増えているという点はすごく評価したいと思います。それに最初にご報告いただいた学校図書の充実というところでは★が減っています。蔵書は増えているのに整備費が減っているからというご報告でしたけれども、数値を見ているとかなり激減しているように見受けられます。今後、整備予算の確保が可能になった場合は、具体的に例えばどういうことでその整備費を使いたいと考えていらっしゃるか教えてください。

児玉典彦（教育長）

学校支援課、大賀課長。

大賀健(学校支援課長)

文部科学省が示しております図書標準というものがありますので、まずはそれを目指して各学校を整備してまいりたいと考えております。以上です。

児玉典彦(教育長)

よろしいですか。今、学校支援課が一番仕事が多くてお金がないので、大賀課長も苦労されていると思います。よろしく願います。はい、小田委員。

小田耕一(教育長職務代理者)

冒頭に説明がありましたように、基本的な計画に基づいて重要施策をこのように点検評価するというのは大変なご苦労があるなというように思います。とかく重要施策について、このような具体的な方法をもってというところまでは一所懸命考えることができるんですけども、やはりやることだけでなくやり終わった、あるいはやり続けていることをこのように点検評価していくということが着実に進化・発展することと、それからきちんと維持することにつながっていくと思いますので、大変な作業だと思いますけれども、ぜひ、このように続けていただけたらというように思います。以上です。

児玉典彦(教育長)

ありがとうございました。よろしいでしょうか。他に無いようでしたら、議案第50号について承認としてよろしいですか。

(はい)

児玉典彦(教育長)

では承認いたします。次の議案第51号「令和2年度使用下関市立中学校教科用図書の採択について」及び議案第52号「令和2年度使用下関市立小学校教科用図書の採択について」は長い時間がかかると思いますので、準備を兼ねてここで休憩を挟みたいと思います。また、学校教育課、教育研修課、教育政策課以外の各課館・教育支所については、ここで散会いたします。

**【議案審議】**

議案第51号 令和2年度使用下関市立中学校教科用図書の採択について

児玉典彦(教育長)

それでは、議案第51号の審議に入ります。議案第51号「令和2年度使用下関市立中学校教科用図書の採択について」教育研修課、願います。

岡良治(教育研修課長)

教育研修課でございます。議案第51号は、下関市立小中学校教科用図書研究調査協議会の研究調査報告を受け、令和2年度のみ使用の下関市立中学校教科用図書を採択していただくものです。なお、6月3日から7月26日まで行われた教科書展示会でいただいたご意見等は、委員の皆様のお手元に配付しておりますので参考にさせていただきようお願いいたします。それでは、ご審議の程よろしく願います。

児玉典彦(教育長)

本日のこの会では、下関市の中学生が来年度のみ使用する教科用図書の採択を行います。委員の皆様には、公正かつ適正な教科書採択にご配慮・ご協力をお願いいたします。本日の会は非公開としておりますが、議事録については、9月1日以降公開することとなりますのでご承知おきください。審議に入る前に、確認をしたいと思います。種目ごとに採択する教科書を決めるにあたり、合議制あるいは採決の方法がありますが、どのように行いましょうか。はい、小田委員。

小田耕一(教育長職務代理者)

裁決ではなくて、合議制で審議を進めるということの基本にしたいと思います。全員一致が原

則ということでしょうか。

児玉典彦（教育長）

皆さんいかがでしょうか。

（賛成です）

児玉典彦（教育長）

ありがとうございます。それでは、合議制で全員一致を基本として審議を進めていきたいと思  
います。それでは、各教科の教科書の採択について協議します。先日の協議会における協議内容  
については、協議会の場で確認されたことと思います。委員の皆様には、各自で教科書の研究調  
査を重ねてこられていると思います。

まず、これまでの研究調査を踏まえ、国語において、最もふさわしい教科用図書はどれだと思  
われますか。その理由を併せてご発言いただきたいと思います。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

色々な教科書を読ませていただきましたけれども、国語に関しては生徒が見通しを持って段階  
的に学べる手順が統一されているという観点から見て、光村図書の教科書が大変優れているとい  
うように思いました。

児玉典彦（教育長）

ただ今、吉村委員から光村図書というご提案がございましたが、いかがでしょうか。はい、藤  
井委員。

藤井悦子（教育委員）

私は、光村図書と、東京書籍がどちらも言語活動が積極的に取り組まれるよう工夫されており、  
また、教材の配列も子供の心に訴える教材がとても多かったと思います。2つのどちらかで決め  
ていただきたいと思います。その中で、私としては光村図書の方がカラーのページが多く、生徒  
が視覚的にも楽しめるので、光村図書を薦めたいと思います。

児玉典彦（教育長）

今、藤井委員から東京書籍の教科書も良かったけれども、最終的には光村図書の方がよいだろ  
うというご意見がありましたが、吉村委員、どうでしょうか。

吉村邦彦（教育委員）

東京書籍さんも非常に優れていると思いましたが、下関市の生徒にふさわしい観点から  
見ても光村図書が優れていると思います。全学年において目当てや振り返りの仕組みが大変充実  
しており、読みの力を高め、読解の教材にも配慮がされているというように思っております。ま  
た、国語科の基礎基本が育成されるように編集されているところが非常に目立ったところでござ  
います。ということで、光村図書がふさわしいと思います。

児玉典彦（教育長）

ありがとうございます。藤井委員と吉村委員から光村図書を推す意見がありましたが、どう  
でしょうか。よろしいですか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

他の委員さんも光村を推すということですので、国語については、光村図書ということでよろ

しいでしょうか。

(はい)

児玉典彦（教育長）

それでは、国語は、光村図書に決定します。

続いて、これまでの研究調査を踏まえ、書写において最もふさわしい教科用図書はどれだと思いますか。その理由を併せてご発言いただきたいと思います。はい、小田委員。

小田耕一（教育長職務代理者）

教科書を読ませていただきまして、光村図書が見易くて、筆遣いが分かり易いという感じを持ちました。資料と本文の文字がとても見やすく、ページのレイアウト、構成がよいという点からいくと、光村図書と学校図書が優れていると思いました。特に光村図書の方が良いかなというように思いました。

児玉典彦（教育長）

ただ今、小田委員より、学校図書も良いが、光村図書でどうか、この2社に絞ってはというご提案がございましたが、いかがでしょうか。この2社でいいですか。

(はい)

児玉典彦（教育長）

この2社に絞って協議します。ご意見をお願いします。はい、児島委員。

児島まさ子（教育委員）

私は光村図書が良いと思いました。文字の大きさや行間に工夫が見られ、他に比べてとても見易く感じました。また、伝統文化に触れる資料も充実しているように思ったので、光村図書を推したいと思います。

児玉典彦（教育長）

今、児島委員から光村図書を推す意見が出ましたが、どうでしょうか。よろしいですか。

(はい)

児玉典彦（教育長）

それでは、光村図書を全員一致で推すということで、書写については、光村図書ということでよろしいでしょうか。

(はい)

児玉典彦（教育長）

それでは、書写は光村図書に決定します。

続きまして、これまでの研究調査を踏まえて、地理において最もふさわしい教科用図書はどれだと思いますか。その理由を併せてご発言いただきたいと思います。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

地理の教科用図書を色々と読ませていただきましたけれども、帝国書院がふさわしいと思っております。下関の生徒にふさわしい特徴をすべて網羅されており、地理的な事象への関心、意欲、態度を高めるような配慮がされております。統計的な学習技能を身につけられるような工夫も随

所に見られるということから、帝国書院が優れているというように思います。

児玉典彦（教育長）

はい、今、吉村委員から統計的な学習技能を身につけられるという編集の工夫も見られるので、帝国書院を推すという意見が出ましたが、どうでしょうか。はい、小田委員。

小田耕一（教育長職務代理者）

私も帝国書院を推します。吉村委員の意見と同様です。また、現地の人の苦労や実際の生活などが記されている部分があり、生徒にとってはこれが興味関心を高める大きな要素になると思います。

児玉典彦（教育長）

ありがとうございました。帝国書院を推す意見がお二方から出ましたが、他の委員さんはどうでしょうか。よろしいですか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、地理については、帝国書院ということでよろしいでしょうか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

地理は帝国書院に決定します。

続きまして、これまでの研究調査を踏まえ、歴史において最もふさわしい教科用図書はどれだと思われますか。理由を併せてご発言いただきたいと思います。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

私は帝国書院の教科書が良いと思いました。理由といたしましては、歴史に対する興味、そして関心を高めるための工夫がいろいろな場面で多く記載されていたということです。コラム、エピソード等、他に比べて群を抜いて多かった点で、私は帝国書院が良いと思いました。

児玉典彦（教育長）

今、藤井委員から帝国書院を推す意見が出ました。他にどうでしょうか。はい、児島委員。

児島まさ子（教育委員）

私も帝国書院はタイムトラベラーを設定してあったり、とてもそういう興味関心を引く工夫が随所に見られて良いと思いましたけれども、もうひとつ東京書籍の教科書もとてもいろんな工夫がされていました。課題や鉛筆マークなどの設定により、表現活動がしやすい工夫が見られ、巻末の用語解説や各章の最後にある重要語句の説明をする問いなどがとても魅力的だなと感じました。

児玉典彦（教育長）

ありがとうございました。ただ今藤井委員、児島委員からそれぞれ帝国書院と東京書籍を推すという意見がありましたが、どうでしょう、この2社に絞って協議をしてもいいですか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それではこの2社について、何かご意見がございせんか。小田委員。

小田耕一（教育長職務代理者）

私は2社ともに、基礎基本の確実な習得という点では両者とも優れていると感じましたが、特に帝国書院の方が優れているというように思います。身近な地域を取り上げて、生徒の興味関心を高められるようにしている工夫と、もう1つは歴史の大きな区分ごとに学習を振り返ろうという工夫がされており、時代を体感してまとめられるというように思いました。そういう理由で私は帝国書院の方がより良いのではないかと思います。

児玉典彦（教育長）

子供達の学習意欲を高めるという点で、興味関心が高められる工夫というのはとても魅力的ですし、歴史を体感することができるという点でも、帝国書院が良いという意見でしたが、私も同様の意見を持っています。どうでしょう。児島委員、どうですか。

児島まさ子（教育委員）

はい。

児玉典彦（教育長）

吉村委員もいかがでしょうか。

吉村邦彦（教育委員）

はい。

児玉典彦（教育長）

それでは、歴史については、帝国書院ということによろしいでしょうか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは歴史は帝国書院に決定します。

続いて、公民です。これまでの研究調査を踏まえて、公民において最もふさわしい教科用図書はどれだと思われますか。その理由を併せてご発言ください。はい、小田委員。

小田耕一（教育長職務代理者）

色々な教科書を読ませていただきましたけれども、資料の豊富さと配列という点で見た結果、東京書籍と日本文教出版の教科書が優れているように思いました。私はその2社について協議してみてもどうかというように思います。

児玉典彦（教育長）

ただ今、小田委員から東京書籍と日本文教出版の2社に絞ってはどうかという提案がございましたが、その2社に絞って検討してもいいですか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

では、この2社に絞って協議をします。ご意見をお願いします。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

私もそれぞれの教科書を読ませていただきましたけれども、この2社では東京書籍がふさわし

と思います。小学校の社会科の学習内容とスムーズに接続できていること、そういった配慮がなされておりまして、一単位時間ごとに学習内容がまとめられていること、知識の定着、振り返りができるような編集が工夫されていることなどを考えて、私は東京書籍がふさわしいというように思います。

児玉典彦（教育長）

私も指導のしやすさ、あるいは一人学びをするときに東京書籍の方が使いやすいかなと思っています。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

私も東京書籍の方が良いと思いました。ワイド版の紙面で写真・地図・グラフ・図・イラスト等が豊富に配置されており、また、生徒が興味関心を高める工夫がされておりました。また、見開き2ページを一単位時間として導入・展開・確認の流れで構成されており、学習内容を定着させる配慮もしてあったと思います。以上です。

児玉典彦（教育長）

小田委員からは、東京書籍と日本文教出版で検討をとということでしたが、意見としては東京書籍を推す意見が多いように思いますが、小田委員、どうでしょう。

小田耕一（教育長職務代理者）

資料、本文配列という点から見ても、やはり東京書籍の方が優れているかなというように思っています。

児玉典彦（教育長）

児島委員もよろしいでしょうか。

児島まさ子（教育委員）

はい。

児玉典彦（教育長）

それでは、公民については、東京書籍ということでもよろしいでしょうか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

公民は、東京書籍に決定をします。

次に、地図について、協議を行います。地図は2社あり、東京書籍と帝国書院となっています。いかがでしょうか。はい、児島委員。

児島まさ子（教育委員）

私は帝国書院の方が色の発色が良く、本当に目を引く地図という印象を持ち、また文字の色、大きさの使い分けなどで、とても読み取りやすいと思いますので、帝国書院を推したいと思います。皆さんいかがでしょうか。

児玉典彦（教育長）

ただ今、児島委員から帝国書院を推す意見が出ましたが、他の委員の方々はどうでしょうか。

（同じです）

児玉典彦（教育長）

帝国書院でよろしいですか。はい、小田委員。

小田耕一（教育長職務代理者）

見やすさという点では、東京書籍もかなり工夫されていて、強調しているという点では、東京書籍も見るところがあると思います。遜色ないという感じがいたしました。

児玉典彦（教育長）

遜色はないということですが、帝国書院を推すということでもよろしいでしょうか。

小田耕一（教育長職務代理者）

はい。

児玉典彦（教育長）

遜色はないだろうが、小田委員も帝国書院を推すということで、帝国書院を推す意見が大半を占めています。地図については帝国書院ということでもよろしいでしょうか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、地図は帝国書院に決定します。

続いて、数学です。これまでの研究調査を踏まえ、最もふさわしい数学の教科用図書はどれだと思われませんか。その理由を併せてご発言ください。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

東京書籍、教育出版、啓林館、日本文教出版、それぞれ読ませていただきましたけれど、どれも甲乙つけ難いくらい良い教科書だったと思います。ただ、基礎的・基本的な学習内容の定着や思考力・判断力・表現力等を育むための工夫、そして、まず何よりも生徒が自ら学ぶことが出来るための工夫を一番凝らしていたのが啓林館だと思っております。

児玉典彦（教育長）

藤井委員からは啓林館に魅力を感じながら、東京書籍、教育出版、日本文教出版にも大変良いところがあるということで、4社の教科書を協議してはという提案でしたが、どうでしょうか。

（はい）

児玉典彦（教育委員）

それでは、4社について意見を伺うということをお願いします。はい、小田委員。

小田耕一（教育長職務代理者）

私もやはり啓林館を推します。数学については、下関市の子供達は長年、啓林館の教科書を使って学習をしてきたという事実があります。教科書の内容を見ても、実績に応じた優れた点があると思いますし、学習の進め方が明確に示されており、なじみのある啓林館の教科書が下関市にはふさわしいのではないかなと思いました。

児玉典彦（教育長）

小田委員からは啓林館を推す意見がありました。他の教科書を推す意見がありますか。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

私も啓林館を推します。教科書調査の報告にもありますように、高等学校の内容も取り扱われていたり、他教科との連携も配慮されている部分があり、非常に基礎基本からきちっとした応用まで、また先ほどのお話にありましたように下関地区で長く使われておりまして、生徒・教員の皆さんにも非常になじみがあるというようなことから啓林館がよろしいと思います。

児玉典彦（教育長）

吉村委員から啓林館という意見が出ましたが、皆さんどうでしょう。よろしいですか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、数学については啓林館ということでよろしいでしょうか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、数学は啓林館に決定します。

続いて、理科です。これまでの研究調査を踏まえ、理科において最もふさわしい教科用図書は、どれだと思われますか。その理由を併せてご発言ください。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

私は、学校図書と啓林館が良いかなと思いました。まず、学校図書の方ですが、教科書全体の文字、絵、図の色使いやレイアウトがとても見やすかったので良かったと思います。また、学習のまとめとして、単元末の問題が簡単な文章で分かりやすくまとめられていて、学習内容の定着に結び付けられていました。啓林館につきましては、単元末のまとめ問題「未来へ広がるサイエンス」として別冊マイノートというのを利用していたということです。やはり別冊教材が使いやすいというのが利点だと思います。

児玉典彦（教育長）

ただ今、藤井委員から、啓林館と学校図書の2社についてそれぞれ良い点を挙げて説明、提案がございましたが、この2社について協議をするということよろしいですか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは啓林館と学校図書について、それぞれご意見があればお願いします。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

私も啓林館と学校図書が非常に素晴らしいと思いましたが、特に啓林館が優れているというように思います。中学校の発達段階の配慮だけでなく、やはり地域素材を取り上げているところも特色として挙げられます。また、先ほどお話がありました別冊の教材に関しても、知識理解のために活用することができて、学習内容から生活経験を起想することができるような工夫がされています。また、習熟度に応じた学習ができるような工夫が非常に網羅されているというように、啓林館が優れていると思います。以上です。

児玉典彦（教育長）

はい、吉村委員から啓林館を推す意見がありましたが、どうでしょう。学校図書を推す意見があればお願いします。はい、児島委員。

児島まさ子（教育委員）

私も学校図書もいいなと思いました。文字が大きく行間を広く取り、とても読みやすいレイアウトになっているという印象でした。ただ、啓林館の方が理科の学習が日常生活に役に立っているという思いを感じられるような工夫が見られたので、啓林館を推したいなと思います。

児玉典彦（教育長）

藤井委員、どうでしょうか。啓林館でという意見が多いですが。

藤井悦子（教育委員）

よろしいと思います。

児玉典彦（教育長）

理科については、啓林館ということでよろしいでしょうか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

理科は啓林館に決定します。

次に、音楽について協議を行います。音楽は2社であり、教育出版と教育芸術社となっています。どうでしょうか。はい、児島委員。

児島まさ子（教育委員）

2社とも甲乙つけ難いという印象でした。ただ、教育芸術社の方がクラシックの曲の選曲は良いと感じたのですけれども、教育出版については、曲の作者の思いの説明など、生徒の興味関心を高める工夫がなされていたということが良いと思いました。あと、日本の伝統文化に特化して熱心に教えようというところが見られたのが特色だと思いましたので、教育出版を推したいと思います。

児玉典彦（教育長）

ただ今、児島委員から教育出版を推すという意見が出ましたが、どうでしょう。はい、小田委員。

小田耕一（教育長職務代理者）

内容も児島委員さんがおっしゃったとおりでと思います。比較してみると、紙面がとてもわかりやすく、視覚的に入ってきやすいという感じを持ちました。ということで教育出版を推したいと思います。

児玉典彦（教育長）

はい。児島委員からありましたように、生徒の興味関心を高める工夫、それから、日本の伝統文化における伝承活動に配慮がなされているということで、教育出版の教科書の特色は大変優れていると思います。こういった取り組みがふるさとを愛する心に繋がるのではないかと思います。私も教育出版を推したいと思います。よろしいでしょうか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

音楽については、教育出版に決定します。

続いて、器楽について、協議を行います。器楽も2社です。教育出版と教育芸術社となってい

ます。いかがでしょうか。はい、児島委員。

児島まさ子（教育委員）

器楽については、教育芸術社の方が優れていると感じました。リコーダーの指導についてですが、とても分かりやすく基本が習得できるように配慮されていました。また、奏法、音符と発展的活動などについて、きめ細やかな指導ができるというように感じたので、教育芸術社の方を推したいです。

児玉典彦（教育長）

ただ今、児島会員から教育芸術社の方が良いのではないかという提案です。どうでしょう。よろしいですか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、教育芸術社を推す意見が多いようですので、器楽については教育芸術社ということによろしいでしょうか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

器楽は、教育芸術社に決定します。

続きまして、美術の教科書です。これまでの研究調査を踏まえ、美術において、最もふさわしい教科用図書はどれだと思われますか。理由を併せてご発言ください。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

はい、色々な教科書を読んでみましたが、開隆堂出版と光村図書が優れていると思いました。まず、開隆堂出版の方ですが、こちらは1年生の教科書で基本的な技法や知識だけでなく、道具の扱い方をまとめて掲載することで、生徒が自主的製作に取り組めるように工夫されていました。また、光村図書の方ですが、こちらは、生徒の作品、作家の作品が多数掲載されており、美術の楽しさを感じられる工夫がされておりました。やはり、たくさんの作品との出会いが生徒達の発想を豊かにするのだと思います。以上です。

児玉典彦（教育長）

ただ今、藤井委員から開隆堂出版と光村図書のそれぞれの良い点を挙げていただき、この2社に絞って検討してはどうかという提案でしたが、どうでしょうか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、開隆堂出版と光村図書の2社についてご意見をお願いします。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

私も開隆堂出版と光村図書が優れていると思いますが、その2社でも開隆堂出版の方がふさわしいと思います。内容的に生徒にとって分かりやすく、取り組みやすい構成になっていること。後は、美術に対して興味関心が持ちやすく親しみやすい構成になっていること。それと、学習活動の見通し、振り返りをきちんと示すことで生徒達自身に主体的な学習を促す構成になっている。また地域の文化財や美術館、それから、人材の積極的な活用を促すような内容が含まれていることも、開隆堂出版の教科書の特色の1つだというように思いますので、開隆堂出版がふさわしい

と思います。以上です。

児玉典彦（教育長）

ありがとうございました。今、開隆堂出版を推すという意見が吉村委員からありましたが、皆さんどうですか。藤井委員も開隆堂出版でよろしいですか。

藤井悦子（教育委員）

はい。

児玉典彦（教育長）

それでは、美術については開隆堂出版ということでよろしいでしょうか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、美術は開隆堂出版に決定します。

続きまして保健体育です。保健体育において最もふさわしい教科用図書はどれだと思われませんか。理由を併せてご発言ください。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

全部の教科書を読ませていただく中で、大修館書店の教科書が大変優れていると思いました。下関市の生徒にふさわしい内容になっているかということで、基礎基本的な知識を深める内容になっていた、内容に配慮されていたというように思いまして、大修館書店が優れていると思います。

児玉典彦（教育長）

ありがとうございました。今、吉村委員から大修館書店ということで推薦がありましたが、どうでしょう。他の委員の皆さんご意見がありますか。はい、小田委員。

小田耕一（教育長職務代理者）

私も大修館書店が良いと思いました。まず、一番に見やすさ、読みやすさの点を感じました。2つ目に、運動や健康・安全についての基礎的・基本的な知識、理解を深める内容に配慮されているという思いを持ちました。そして、健やかな体の育成ということで、体力向上、健康教育、食育などの内容が随所にあって、下関の教育にふさわしく、成果も期待できるのではないかなと思います。

児玉典彦（教育長）

はい、ありがとうございました。大修館書店を推す意見が出ましたが、藤井委員、児島委員よろしいですか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、保健体育は大修館書店に決定します。

続きまして、技術です。これまでの研究調査を踏まえ、技術において最もふさわしい教科用図書はどれだと思われませんか。理由を併せてご発言ください。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

私は、開隆堂出版が優れていると思いました。理由としましては、やはり項目ごとに基礎基本

の習得を目的として考えたり調べたりする課題が多く設けられていました。また、実習例も豊富で基本が分かりやすく丁寧に解説されている点で、開隆堂出版を選びました。

児玉典彦（教育長）

藤井委員からは、開隆堂出版を選びたいという意見が出ましたが、今の提案についてどうでしょう。他にご意見がございますか。はい、児島委員。

児島まさ子（教育委員）

私も開隆堂出版がふさわしいと思いました。製作の手順や活動の様子などの学習過程が具体的に示されているので、生徒にとって取り組みやすい構成となっているように感じました。また、実生活で安全に過ごすための適切な注意事項などが記載されており、情報セキュリティ、情報モラルについての工夫も見られるということが特色と思います。

児玉典彦（教育長）

情報モラル、情報セキュリティの指導もしやすいようにという工夫が見られるという点も開隆堂出版の特色の一つだという意見でした。どうでしょう。開隆堂出版を推す意見が多いようですが、技術については開隆堂出版でよろしいでしょうか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、技術は開隆堂出版に決定します。

あと2つです。家庭科においてこれまでの研究調査を踏まえ、最もふさわしい教科用図書はどれだと思えますか。その理由を併せてご発言ください。はい、児島委員。

児島まさ子（教育委員）

どの教科書も興味関心が高まる工夫がなされていると感じました。東京書籍については、基本的にページが見開きになっており、学習内容が見渡せるということで非常に見やすい教科書だと思います。また、小学校の学習内容を具体的に提示してあり、中学校と対比して振り返りができる。またほかの教科との関連が分かりやすく表示されていると思います。

児玉典彦（教育長）

はい、ただ今、児島委員から東京書籍の教科書が興味関心を引く、学習内容を把握しやすい、小中学校の繋がりや他の教科との関連が示されているので良いのではないかという提案でしたが、皆さんどうでしょう。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

私も児島委員と一緒に、東京書籍がふさわしいと思いました。小学校家庭科の学習との関連についての配慮もされており、また食に関する内容も大変充実しています。基礎的基本的な内容が丁寧に記述されているので、東京書籍が望ましいと思います。

児玉典彦（教育長）

ありがとうございます。藤井委員からも東京書籍を推す意見が出ましたが、どうでしょう。家庭科については東京書籍ということでよろしいでしょうか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは全員一致で、家庭科については東京書籍ということで決定したいと思います。

最後に英語です。これまでの研究調査をふまえ、英語においては最もふさわしい教科用図書は、どれだと思われますか。その理由を併せてご発言ください。はい、小田委員。

小田耕一（教育長職務代理者）

私は2つの点で東京書籍と学校図書の教科書を推したいと思います。そして協議していただきたいと思います。1つはページを開いたときの目に入ってくる見やすさという点。2つ目は、各章の進め方のパターンが決まっていて、子供達にとって見通しが持ちやすいのではないかという点で東京書籍と学校図書を推したいと思います。協議いただけたらと思います。

児玉典彦（教育長）

今、小田委員から教科書を開いたときの見やすさ、学び方の手順が一つのパターンとして示されているので、子供が学びやすいという意見でしたが、東京書籍と学校図書の2社に絞って協議してもいいですか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、この2社に絞って協議します。ご意見をお願いします。はい、児島委員。

児島まさ子（教育委員）

私も学校図書については、世界や日本の人たちの生活習慣、また伝統などに興味関心を引くような題材があったということ、またチャプターの扉などで学習の見通しと内容を整理しやすくなっているという印象でした。また、東京書籍の方も4技能を習得するための活動が設定され、育成をきちんと促している。また、写真や図、登場人物のイラストなどが効果的に掲載されており、とても学習しやすくなっているというように感じました。

児玉典彦（教育長）

ありがとうございました。他の委員さんどうでしょう。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

学校図書の方は、目当てと振り返りを連動させた授業の展開に適した構成になっています。東京書籍の方は、3年間を通じたテーマを伝えていて、英語力の基礎を身につけるとともに、その英語力を活かして世界と繋がりグローバルに活用できる人間に育てることを目指して編集されています。このグローバルにという観点から、私は東京書籍がいいかなと思っております。

児玉典彦（教育長）

はい、藤井委員からは東京書籍が良いのではないかという意見が出ましたが、吉村委員、何かありますか。

吉村邦彦（教育委員）

東京書籍、学校図書共に甲乙つけ難いんですけども、その中でも私は東京書籍が優れているというように思いました。内容ですけども、コミュニケーション活動に、**Read and Think**では読む・書くを中心にしたコミュニケーションの方に重点が置かれていまして、言語への知識を深めることができるような構成になっています。また、多様な外国語の文化だけでなく、日本の文化を英文を通して理解したり紹介したりするという活動も盛り込まれているというようなどころから、英語を学ぶ下関の子供達には東京書籍が優れているというように思いました。以上です。

児玉典彦（教育長）

はい、東京書籍を推す意見が3人の委員から出ました。小田委員、どうでしょう。東京書籍で

よろしいですか。はい、小田委員。

小田耕一（教育長職務代理者）

私も東京書籍が良いと思います。先ほども申しましたが、見やすさという点、それからパターンが徹底しているという点では東京書籍の方がやや優れているかなと思いました。4技能もバランスよく育成して発信力を高める工夫、それから、学び方コーナーで言語の機能や文書の構成についてまとめているなど、生徒の主体的な学びを助ける工夫が多いと思いました。

児玉典彦（教育長）

東京書籍を推す意見が多いですので、東京書籍ということでよろしいでしょうか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、英語は東京書籍に決定します。

以上で全ての種目について来年度の下関市の中学生が使用する教科用図書が決まりました。これらの教科書を用いて、生徒が意欲的に学習に臨み、確かな学力をはじめとする生きる力を身につけていくことを心から願っています。委員の皆様をはじめ、研究調査協議会や研究調査委員会の委員の皆様のこれまでのご苦勞とご協力に感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。なお、教科書採択につきましては、冒頭に申し上げたとおり、8月31日までは非公開となっておりますので、教育委員の皆様をはじめ、今日の会議に参加された皆様には情報管理につきまして、どうぞよろしくお願いいたします。以上で、議案第51号の審議を終わります。お疲れ様でした。

ここで一旦昼休憩を取って、午後は13時から再開して、小学校の教科書について採択を行っていきたいと思います。お疲れ様でした。

#### 【議案審議】

#### 議案第52号 令和2年度使用下関市立小学校教科用図書の採択について

児玉典彦(教育長)

それでは、議案第52号の審議を行います。議案第52号「令和2年度使用下関市立小学校教科用図書の採択について」教育研修課、岡課長お願いします。

岡良治（教育研修課長）

教育研修課でございます。議案第52号は、下関市立小中学校教科用図書研究調査協議会の研究調査報告を受け、令和2年度使用下関市立小学校教科用図書を採択していただくものです。なお、6月3日から7月26日まで行われた教科書展示会でいただいたご意見等は、委員の皆様のお手元に配付しておりますので、参考にさせていただきようをお願いいたします。それではご審議の程よろしくをお願いいたします。

児玉典彦（教育長）

本日のこの会では、下関市の小学生が来年度から使用する教科用図書の採択を行います。委員の皆様には、公正かつ適正な教科書採択にご配慮、ご協力いただきますようお願いいたします。本日の会は非公開としておりますが、議事録については、9月1日以降公開することになりますので、ご承知おきください。審議に入る前に確認をしたいと思います。種目ごとに採択する教科書を決めるに当たり、合議制、あるいは採決といった方法がありますが、どのように行いましょうか。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

裁決ではなく、合議制で審議を進めることを基本としてはいかがでしょうか。全員一致で決めるということにしたいと思います。

児玉典彦（教育長）

皆さんどうでしょう。いいですか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

はい、それでは全員一致、合議制ということで行きたいと思います。

児玉典彦（教育長）

それでは、各教科の教科書の採択について協議します。先日の協議会における協議内容については、協議会の場で確認しました。あれから、委員の皆様には、各自で教科書の研究調査を重ねてこられていることと思います。

それでは、これまでの研究調査を踏まえ、まず、国語科において最もふさわしい教科用図書は、どれだと思われますか。その理由を併せてご発言ください。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

私は教科書を色々と読ませていただきましたけれども、光村図書と東京書籍を選ばせていただきました。まず、光村図書ですが、こちらは、各単元で身につけた学びを「大切」や「学習で用いる言葉」などで確認し、達成感を味わった児童が「活かそう」でさらに知識を活用して取り組めるように工夫されています。また、「活かそう」を通して主体的に学習に取り組む態度や対話力などの言葉の力の基礎が確実なものになるように工夫されていたところが良かったと思います。東京書籍につきましては、単元によって学習の見通しが設けられ、学習の意欲が高まるように工夫されていました。「振り返る」では、振り返りの観点と言葉の力が提示され、清書の実感を味わいもっと学びたいという次の学びへの意欲が高まるように工夫されています。児童の読書意欲を高めたり、学びに向かう力を充実させているのは、総合的に見た結果、東京書籍と光村図書であったと思います。

児玉典彦（教育長）

今、藤井委員から光村図書と東京書籍の2社について推薦が有りましたが、どうでしょうか、この2社に絞ってこれから協議をしていいですか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、光村図書と東京書籍についてご意見があればお願いします。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

私も、東京書籍が学びのポイントがはっきり分かるような編集がされているというように感じたのですが、私は光村図書の方が良いと思います。理由は、全学年においても、学びの繋がりを意識した構成となっていたり、発達に応じて、国語科の基礎基本が育成されるように編集されているところと、学習過程の中で様々な人との効果的な対話の場を設定して、他者と学ぶことの意義を実感できるように工夫されているというところで、私は光村図書が良いと思います。以上です。

児玉典彦（教育長）

ありがとうございました。他にはどうでしょう。はい、小田委員。

小田耕一（教育長職務代理者）

私も、光村図書を推したいと思います。藤井委員も少し触れられましたけれども、見通す、活かす、積み重ねるという編集になっているということと、それから巻頭で見通しを持った後は、巻末でもう一度繰り返し定着を図ろうとする工夫があるという点で、光村図書が良いのではないかとこのように思いました。

児玉典彦（教育長）

今、お二方の委員から光村図書を推す意見が出ました。どうですか、児島委員。

児島まさ子（教育委員）

はい。

児玉典彦（教育長）

児島委員も光村図書を推すということで、藤井委員、どうでしょうか。

藤井悦子（教育委員）

はい。

児玉典彦（教育長）

国語については、光村図書という意見で、全員一致ということによろしいですか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、国語は光村図書に決定します。

続いて、書写の教科書です。これまでの研究調査を踏まえ、最もふさわしい教科用図書はどれだと思われましたか。その理由を併せてご発言ください。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

私は日本文教出版と東京書籍の教科書が大変優れていると思いました。まず東京書籍についてですが、こちらは学習の準備として基本となる姿勢について写真が一番大きく、また筆の持ち方を分かりやすく解説している点を評価いたしました。日本文教出版につきましては、考える、確かめる、活かすの3ステップで学習過程を明確にし、流れに沿って主体的に学習することで、書写の原理・原則が確実に身につくように工夫されていました。こういうところも優れている点だと思います。

児玉典彦（教育長）

はい、日本文教出版と東京書籍の教科書について優れている点を挙げてもらいました。どうでしょう。書写の教科書については、日本文教出版と東京書籍の2社に絞ってはどうか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは日本文教出版と東京書籍に絞ってご意見をお願いします。はい、小田委員。

小田耕一（教育長職務代理者）

私はどの教科もなんですけれども、学習の流れのパターンをきちんと踏んでいる教科書が良いというように思っています。書写についても、日本文教出版は、考える・確かめる・活かすとい

う3ステップを踏みながら段階的に学ぶことができるように配慮されていると思います。また、伝統と文化に触れる資料を提示し、豊かな情操を育む、そういう目的を持った配慮がされているように感じた点からも、下関市の児童が使用する教科書としてふさわしいのではないかと思います。

児玉典彦（教育長）

はい、ありがとうございました。日本文教出版を推す意見でした。他にありますか。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

私も日本文教出版が良いと思います。理由は、2学年以上は目次と一緒に各学年の目標がきちんと明示されており、1年間の学習の見通しもできるようになっています。それと、昨今では非常に多くなってきていますけれど、左利きの子でも使用しやすいレイアウトが工夫されているなど、細部にこだわって非常に子供目線で教科書を作っているところが良いと思います。

児玉典彦（教育長）

今、それぞれ日本文教出版を推薦する意見でしたが、どうでしょう、藤井委員、児島委員。日本文教出版でよろしいですか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、日本文教出版を推す意見が多いですので、書写については、日本文教出版に決定したいと思います。

続いて、社会科です。これまでの研究調査を踏まえ、最もふさわしい教科用図書はどれだと思いますか。その理由を併せてご発言ください。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

色々な社会の教科書を見ましたが、東京書籍が一番良いというように思いました。内容的には問題解決的な学習を通して、より良い社会づくりに参画しようとする意識・意欲・態度を育てることを基本方針にされておりまして、統計的な学習機能を身につけるといふ編集もされているところが、小学校の社会においては非常に東京書籍が優れているというように思いました。

児玉典彦（教育長）

ただ今、吉村委員から東京書籍でどうかというご提案がありましたが、他の委員さんどうでしょうか。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

私も吉村委員と一緒に、東京書籍は習得した知識の活用を促す活動が提示されていることと、系統的な学習機能を身につけられるような編集の工夫が見られたので、東京書籍が良かったと思います。

児玉典彦（教育長）

今、東京書籍を推す方2人から、それぞれ意見を述べてもらいましたが、他の教科書を推す意見はありますか。ございませんか、東京書籍でよろしいですか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

東京書籍を推す意見が多いようですので、社会については東京書籍ということでよろしいでしょうか。

(はい)

児玉典彦（教育長）

それでは社会は東京書籍に決定します。

それでは4番目、地図について協議を行います。地図は2社あり、東京書籍と帝国書院の地図帳があります。皆さんどうでしょうか。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

私は帝国書院が優れていると思います。東京書籍も非常に良いと思いましたが、ページ数は帝国書院の方が20ページ多いのですけれども、15%軽量化されていると、今の時代に合っているというように感じました。それと、地図帳の使い方などが12ページにわたって非常に丁寧にあり、3年生からの子供達にも分かりやすく書かれていることが優れていると思います。

児玉典彦（教育長）

ただ今、吉村委員から帝国書院を推す意見が出ました。他はどうでしょう。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

私は2社を比較しまして、色合いや深みがあってきれいなのは東京書籍だと思いました。ただ、すっきり感、見やすさは帝国書院が優れていました。地図に興味を持ち始める発達段階の児童にとって細かく情報が書き示されているのは東京書籍の地図だと思います。教科書の大きさですが、昨年まで帝国書院は版が小さくて、見づらいなというのがありました。今年になって、帝国書院が東京書籍と同じ大きさになったということで、確かに中が見やすくなったなというのを思います。東京書籍の方がイラストがたくさん用いられていて、最初から最後まで子供達が一緒に地図の中で旅をしているような感覚になるのではと思っています。帝国書院は教える側にとっては教えやすい、分かりやすい、馴染みのある教科書だと思いましたし、東京書籍は子供達が見て、自分から地図帳を開いてみようかなと、そういう意欲を掻き立てるような良さがあったように思います。

児玉典彦（教育長）

藤井委員からは、東京書籍も帝国書院も甲乙つけ難い意見がありましたが、子供が見たときに学習意欲を喚起するような造りは東京書籍ではないか、ただ教えやすいのは帝国書院ではないかという意見だったと思いますが、どうでしょう。児島委員、どうですか。

児島まさ子（教育委員）

東京書籍もすべての世界遺産について書かれていたり、日本の歴史と関連付けながら写真付きで掲載されていたりするなど、魅力的ではあるんですけど、私としては帝国書院の方を薦めたいと思います。とても見やすいというのが一番の特色だと思います。国名が赤、首都や歴史地名が青で書かれてあるなど、そういう細かいところの配色にも行き届いていますし、また、もう1つは、児童の発達段階に配慮し、中学年向けの親しみやすい表現のものから高学年向けの詳しい表現のものまで順良く配列されているという点も評価したいと思います。

児玉典彦（教育長）

ありがとうございました。それでは、小田委員、どうでしょう。

小田耕一（教育長職務代理者）

正直なところ、遜色ないというように思います。主に社会科の授業で地図帳を使って、どのよ

うに使っていくかということにもよるとは思いますけれども、私の感覚では、見やすさという点でもそれ程の違いはないかなと思います。意見も出ましたけれども、学年の発達に即して学習の進め方があると思うのですけれど、その使い方という点でいけば、帝国書院の方に工夫があるのかなという思いはいたしました。正直迷っておりますけれども、その辺を考えると帝国書院のかなと。

児玉典彦（教育長）

小田委員の発言の中にあつた発達の段階に即して、ということですが、帝国書院の場合は日本の地方の地図が低学年用と高学年用と2通りあって、3・4年生でもとてもとつきやすいかなという印象もあります。全体としては、帝国書院を推す意見が多いように思いますが、藤井委員、どうですか。帝国書院でよろしいですか。

藤井悦子（教育委員）

はい。

児玉典彦（教育長）

それでは全員一致で、地図については帝国書院ということによろしいでしょうか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、地図は帝国書院に決定します。

次に算数です。これまでの研究調査を踏まえ、算数において最もふさわしい教科用図書はどれだと思われますか。その理由を併せてご発言ください。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

5社の教科書を読ませていただきましたけれど、その中で3社の教科書が1冊になっていて、振り返りがしやすいなというのを感じました。それが啓林館、大日本図書、教育出版の3社の教科書です。やはり学習の進め方や、わくわく算数学習とか、全体的に空白の使い方や字の配列がとても見やすかったので、啓林館を私は薦めたいと思います。

児玉典彦（教育長）

今、藤井委員から啓林館の教科書を推しつつ、啓林館、大日本図書、教育出版の3社に絞って意見を聞いてみたいということですが、どうでしょう。この3社についてご意見をお願いできますか。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

3社とも非常に良い内容だと思いますけれども、私もその中で啓林館が一番印象的でした。理由は児童の考えや表現するためのヒントが児童の言葉として掲載されている。それから、算数の学びで大切にしたい図の描き方、思考法が丁寧に説明されている点でも良いと思います。下関においては複式学級もありますので、教科書に沿って自分達で学習を進めなければいけない時間があります。その点から考えると、学習の進め方などが明確に示されていることと、なじみのある啓林館の教科書が、やはり下関にはふさわしいのではないかなというように思いました。以上です。

児玉典彦（教育長）

ありがとうございました。今、吉村委員から啓林館を推す意見がありました。大日本図書や教育出版を推す意見がありますか。どうでしょう。小田委員。

小田耕一（教育長職務代理者）

私も啓林館が良いと思います。6年生の広がる算数というところでの様々な職種で算数の学びを仕事に活かすということが紹介されているところがとても良いなという印象持ちました。キャリア教育との繋がりという点でもよく考えられているなと思いました。以上です。

児玉典彦（教育長）

ありがとうございました。児島委員、どうでしょう。

児島まさ子（教育委員）

確かに教育出版も良いなと思いました。ですが、ちょっとすっきりし過ぎてインパクトに欠けるなというイメージではありました。啓林館は本当に見た目もシンプルで、とても分かりやすく、報告書にもありますけれど、配色やフォントなど誰もが見やすいものになっていると記されていますので、私も同じ意見でした。

児玉典彦（教育長）

それでは啓林館を推す意見が圧倒的に多いようですので、算数については啓林館ということでよろしいでしょうか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、算数は啓林館に決定します。

続いて、理科です。これまでの研究調査を踏まえ、理科において最もふさわしい教科用図書はどれだと思われますか。その理由を併せてご発言ください。はい、児島委員。

児島まさ子（教育委員）

私は、学校図書と大日本図書の教科書が良いと思いました。学校図書については、とても見やすくまとまりがあるという印象です。また、4・5・6年の各学年において下関の写真が使われているという点も魅力だと思います。また大日本図書は、見る・触る・触感覚活用を工夫されていたのと写真の表情が良いなと思いました。

児玉典彦（教育長）

今、児島委員からは学校図書と大日本図書の教科書が良いのではないかという意見がありましたが、どうでしょう。この2社に絞ってもいいですか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

わかりました。この2社について協議します。ご意見をお願いします。はい、小田委員。

小田耕一（教育長職務代理者）

私は学校図書が良いのではないかというように思います。先ほど児島委員からもありましたけれども、山口県や下関市の資料が多数使われているということで、地域に関連したことから学習を深めていくということに適しているというように思いました。新学習指導要領実施に向けて、理科の見方・考え方を働かせて、予想したり、実験したり、観察したりする、追求する過程がとても大切だと思いますが、学校図書はこれまで学習したこと、生活経験を思い出すことによって、それから予想して学習のことは見通していく、考えていくことができるような場面が作られているように思います。

児玉典彦（教育長）

ありがとうございました。小田委員からは、学校図書を推す意見が出ました。どうでしょう。大日本図書を推す意見はございませんか。藤井委員はどうですか。

藤井悦子（教育委員）

学校図書です。

児玉典彦（教育長）

吉村委員は。

吉村邦彦（教育委員）

学校図書です。

児玉典彦（教育長）

それでは学校図書を推す意見が多いですので、理科については学校図書ということによろしいでしょうか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

理科は学校図書に決定します。

7番目、生活科について、これまでの研究調査を踏まえ、生活において最もふさわしい教科用図書は、どれだと思われますか。その理由を併せてご発言ください。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

私は、日本文教出版が優れていると思います。その理由は、先日来の調査報告会でもあったように、若い先生でも分かりやすく質の高い授業ができるような構成になっている。そして、教員の皆さんが見通しを持った授業ができる。それから、地域素材を取り入れた活動がしやすい工夫がされていることから、日本文教出版が優れていると思います。

児玉典彦（教育長）

ありがとうございます。ただ今、吉村委員から日本文教出版の教科書を採択してはどうかという提案がございましたが、どうでしょう。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

私も吉村委員と一緒に、日本文教出版が優れていると思いました。気づく・深める・繋げるを編集の基本方針としているため、経験年数に限らず、無理なく質の高い授業も可能だと思います。さらに、学びを繋ぎ、学びを広げることを重点にしていることも特色の1つです。小学校生活の基礎をつくる低学年期の学びを重視している点は、下関市の努力点とも深く関連していると言えます。また、子供達が主体的に取り組む安全教育や日常における多様性の配慮に係る様々な視点が考慮され、現代的な課題に向き合った内容だったと思います。

児玉典彦（教育長）

今、藤井委員からは日本文教出版の教科書を推す意見が出ましたが、どうでしょう。お二方の意見は、日本文教出版でよろしいですか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、小田委員も児島委員も同意ということで、生活については日本文教出版ということ  
でよろしいでしょうか。

(はい)

児玉典彦（教育長）

生活は日本文教出版に決定します。

それでは8番目、音楽についてですが、音楽も2社であり、教育出版と教育芸術社となってい  
ます。どうでしょう。どちらを採択しましょうか。はい、児島委員。

児島まさ子（教育委員）

教育出版の方もとても児童の興味を引くような色々な工夫がされていると思いましたが、  
私は教育芸術社を選びたいと思います。童歌、民謡、お囃子など、日本の伝統音楽、音楽文化に  
ついて学べる特色を評価したいと思います。

児玉典彦（教育長）

今、児島委員からは教育芸術社の教科書を推す意見が出ました。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

私も教育芸術社が良いかなと思いました。教科書で得た知識や技能を活かして、学校だけでな  
くて、家庭や地域社会での生活を明るく潤いのあるものにしようとする意識を高めるように工夫  
されている場面が多く見られたということ。それと国歌の場面ですけれども、確かにどちらも国  
歌の意味を書いてありましたが、国歌を聞くときの態度、姿勢、マナーについて書かれていたの  
は教育芸術社だったと思います。やはりこれは大切なことだと思いますので、教育芸術社を推し  
たいと思います。

児玉典彦（教育長）

今、面白い視点から教育芸術社を推す意見が出ましたが、どうでしょう。教育芸術社で良いで  
しょうか。

(はい)

児玉典彦（教育長）

それでは、音楽については、教育芸術社に決定します。

次に、図画工作について協議を行います。図画工作も2社であり、開隆堂出版と日本文教出版  
となっていますが、どうでしょうか。はい、小田委員。

小田耕一（教育長職務代理者）

私は、開隆堂出版がふさわしいと思います。下関市の児童にふさわしい特徴の観点の中で、児  
童にとって見通しが持ちやすい構成になっているということと、児童の自発的な学びを促す構成  
になっているという点において、とても優れていると思います。子供達自身が学んでいくという  
点で、その特徴はすごく良い点であるというように思いました。知識や技能に関する巻末資料ペ  
ージの造形の引き出しが充実している点も良いと思います。以上です。

児玉典彦（教育長）

今、小田委員から開隆堂出版を推す意見が出ました。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

私も開隆堂出版がふさわしいと思いました。道具の使い方について、イラストだけでなく、写

真も併用して分かりやすく解説していたことと、QRコードを掲載していたということも面白いかなと思います。

児玉典彦（教育長）

藤井委員からも開隆堂出版がふさわしいという意見ですが、吉村委員、児島委員、どうでしょう。はい、児島委員。

児島まさ子（教育委員）

私も開隆堂出版です。インパクトがあり、とても魅力的で引き付ける力があると思いました。また、シャガールや北斎、マグリットなどの題材もとても良いと思っています。

児玉典彦（教育長）

ありがとうございました。吉村委員、よろしいですか。

吉村邦彦（教育委員）

はい。

児玉典彦（教育長）

それでは、全員が開隆堂出版を推すという意見ですので、図画工作については開隆堂出版ということよろしいでしょうか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、図画工作は開隆堂出版に決定します。

引き続き、家庭科について協議を行います。これも2社あり、東京書籍と開隆堂出版となっています。どうでしょうか。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

どちらも基礎基本を身につけられるように工夫されていました。ただ、私は東京書籍の方がA4版で大きく、一目で分かりやすいと思います。写真が大きく、どのページも見ただけで詳しく分かるのが特色だったと思います。

児玉典彦（教育長）

今、藤井委員からは東京書籍という意見が出ました。はい、小田委員。

小田耕一（教育長職務代理者）

実は私は、その反対の意見がありました。広く大きくなったことで、東京書籍の方は少しぼんやりと間延びしているようなページの印象を受けました。開隆堂出版の方が見やすいという感覚です。また、実生活で活かすという視点でいうと、開隆堂出版の方が充実しているように思いました。以上です。

児玉典彦（教育長）

今、東京書籍と開隆堂出版を推す意見が出ました。それぞれ1つずつですが、どうでしょう。はい、児島委員。

児島まさ子（教育委員）

私は小田委員さんと同じ意見です。調理、製作の手助けとなるような工夫が、実習手順見開き2ページで分かりやすく掲載されており、また児童の目線から見たアングルの写真を掲載するな

どの工夫を評価したいと思います。中学校との連携にも配慮がなされているようです。これらの理由で、開隆堂出版を推したいと思います。

児玉典彦（教育長）

吉村委員、どうですか。

吉村邦彦（教育委員）

私は開隆堂出版が良いと思います。研究調査員からの報告にもありましたように、中学校の内容との系統性とか、児島委員からもありましたように連携、そういったところにも配慮が意識されているというところ、コンピューターや情報ネットワーク等のデジタルコンテンツに関してもきちっと網羅されており、家庭生活の中のプログラミングの考え方とかも取り上げられているような工夫がされてるところが特色の1つだと思っています。

児玉典彦（教育長）

ありがとうございます。今、開隆堂出版を推す意見が出ましたが、藤井委員、どうでしょうか。

藤井悦子（教育委員）

そのような意見があるのであれば、開隆堂出版でよろしいと思います。

児玉典彦（教育長）

藤井委員も開隆堂出版でと意見が出ましたので、家庭については開隆堂出版ということによろしいでしょうか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、家庭科は開隆堂出版に決定します。それではここで5分間休憩をとります。

（休憩）

児玉典彦（教育長）

それでは、協議を再開します。保健の教科書です。これまでの研究調査を踏まえ、最もふさわしい教科用図書はどれだと思われますか。その理由を併せてご発言ください。はい、小田委員。

小田耕一（教育長職務代理者）

私は、授業で学ぶステップが明確で、学習の見通しが持ちやすい教科書はどれかという点で、東京書籍と学研教育みらいの教科書が優れていると思いました。私はその2社が良いと思いました。

児玉典彦（教育長）

今、小田委員からは東京書籍と学研教育みらいの教科書が良いのではないかという提案がありました。この2社に絞っていいですか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、東京書籍と学研教育みらいの2社に絞って協議をします。ご意見をお願いします。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

まず、学研教育みらいについてですが、他の教科書会社と比べて、心の健康や怪我の予防、病気の予防について特に重きを置いていました。やはり、一番保健で大事なのはそういうところかなと思っています。また、東京書籍の方ですが、私が専門なのでどうしても目が行くのですが、歯周病、虫歯について写真入りで解説されていました。今、虫歯以上に歯周病の方が問題になっています。それが詳しく書いてありました。学研教育みらいも触れてはいるのですが、余り詳しく書いてなかったなので、この点からは、東京書籍もいいかなと思っています。

児玉典彦（教育長）

今、藤井委員からは、東京書籍でどうかという意見が出ました。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

私は東京書籍が優れていると思います。研究調査員の選定内容の評価も非常に高かったという認識をしておりますし、学習課題の見つけやすさの配慮、それからまとめや発展において、先ほどもお話がありましたけれども、実生活に繋げるための工夫がなされているというように思っています。そういった配慮がなされているのは、東京書籍の方だというように思います。以上です。

児玉典彦（教育長）

児島委員、どうでしょう。

児島まさ子（教育委員）

2社とも気づく、調べる、まとめるなど、ステップで構成されており、思考の整理がしやすい工夫がよくなされていると思います。ですが、私は学研教育みらいの方の「関連」という見出しがあるのですけれども、今まで学習したことについてや他の教科との関わりを示したということで、そこを評価したいと思って、学研教育みらいが良いと思います。

児玉典彦（教育長）

東京書籍と学研教育みらい、どちらにも絞りにくいのですが、お手元に2社の教科書を出して貰えますか。5年生と6年生の教科書を見ていただいています。この1冊の中に書き込まれている学習内容は、5・6年生の2年間でおよそ16時間で学ぶものです。16時間でこの内容を学習すると考えたときに、どちらが子供にとって負担無く学習できるでしょうか。そのあたり踏まえてばらばらと見てもらったらと思います。例えば、東京書籍の2ページと学研教育みらいの3ページを開いて貰えますか。ここに、この教科書の使い方ということで、学研教育みらいでは、次のように学習を進めていきましょうということで、学び方や学習の手順が示されていますが、どちらが子供達にとって学びやすいでしょうか。そういう学び方の提言が示されているということを念頭において、実際の学習内容を見てもらえたらと思いますが、学研教育みらいの48ページ、東京書籍の68ページです。ここに飲酒の害ということで、学習内容がずっと示されています。随分印象が違うと思いますが、児島委員、どうですか。

児島まさ子（教育委員）

私は学研教育みらいの方が見やすいです。

児玉典彦（教育長）

学研教育みらいの方が良いかなという意見が出ました。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

私は東京書籍の方が見やすいかなと思いましたが。最初の3ページも子供達が実際にやっているところの写真入りで出ているので情報の入手の仕方のところですね、見やすいかなと思っており

ます。

児玉典彦（教育長）

どうでしょう。吉村委員、どうですか。

吉村邦彦（教育委員）

東京書籍の方が良いと思いましたが、学研教育みらいの方も今の教育長が言われるところのページで確認をすると、飲酒が最終的に命に関わるということがきちっと明文化されて良いなと思いました。東京書籍の方は、お酒の量を多く飲めば意識が朦朧とするところにとどまっており、やはり、下関の命を学ぶということで考えれば、そこに直結するところに関してはきちっと明文化した方がいいのではないかと思います。

吉村邦彦（教育委員）

吉村委員からは、学研教育みらいを推す意見が出ました。特に飲酒の危険性についてきちんと指摘してあるということで、良いのではないかという意見でした。小田委員、どうでしょう。

小田耕一（教育長職務代理者）

正直言って決定的な意見がありませんが、49ページと、69ページに人体のイラストがありますが、それだけを見ると、私は東京書籍の方が良いのではないかなと、好き嫌いになるかもしれませんが、文字の大きさとか読みやすさなどでいくと私は東京書籍の方だろうと思います。内容的にどちらがということはちょっとはつきり分かりません。

児玉典彦（教育長）

なかなかどちらかの意見にまとめるということが難しいようですが、せっかくですので、もう一つ見てみましょうか。東京書籍の14ページと学研教育みらいの12ページを比べてみてください。不安や悩みで困ったときには、どんな対処法があるかということで。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

2社を初めずっと見た時には東京書籍の方が良いと思ったのですが、学研教育みらいの方が心の悩みの対処の方法とか、思春期というところを見たときに、書き込みも非常に多くなっています。段階に応じて、こういうような形で解消していけばいいということとか、あと、きちっと大きな枠をとって、困ったときの相談窓口とかも書いてあります。そういったことも含めると、非常に分かりやすい内容になっているのかなというように思います。

児玉典彦（教育長）

ありがとうございました。今、学研教育みらいの方が良いという意見ですけれども、どうでしょう。藤井委員、どうですか。

藤井悦子（教育委員）

なかなか甲乙付け難いです。

児玉典彦（教育長）

児島委員は学研教育みらいで良いですね。小田委員、どうぞ。

小田耕一（教育長職務代理者）

最初に学習のステップを踏んでいるというように申しましたけれども、東京書籍の一番が「気づき」「見つける」ということで、その次に「調べる」「解決する」ということで、どちらが保健を通じて主体的に学ぶかという形になれば、東京書籍の方がそれを貫いている感じがします。ですが、教育長から例として挙げられたページを見れば、説明として分かりやすいのは学研教育みら

いの方かもしれません。そのどちらにも良さがあると思います。

児玉典彦（教育長）

ページ数は、東京書籍の方が20ページ多いので、資料が多かったり、書き込みの部分が随分あるかと思います。これを子供達が16時間という限られた時間で学ぶとしたらどうでしょう。学研教育みらいが良いのではないかという意見が多いように思いますが、藤井委員、どうでしょう。

藤井悦子（教育委員）

学研教育みらいで良いと思います。

児玉典彦（教育長）

これを2年間、16時間で扱うこと、それから教科書の量、資料の量、学習内容が学研教育みらいの方が整理されているということで、保健については学研教育みらいということによろしいでしょうか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、保健は学研教育みらいに決定します。

次は外国語です。これまでの研究調査を踏まえ、外国語において最もふさわしい教科用図書はどれだと思われますか。その理由を併せてご発言ください。はい、小田委員。

小田耕一（教育長職務代理者）

私は外国語の教科書の中で3つの点で東京書籍と教育出版が良いと思いました。1つは何度も言っておりますけれども、学習の流れが確かなパターンを踏んでいるということ。それから2つ目は、東京書籍の方には、みんなが英語を好きになるという言葉が確か使われていたと思います。そういった楽しく学習するという。それから3つ目に外国語活動でこれまで使ってきた教材との流れを意識しているという、その3点で、東京書籍と教育出版を推したいと思います。

児玉典彦（教育長）

今、小田委員から、東京書籍と教育出版を推薦したいという意見が出ましたが、他の教科書会社を推す意見がありますか。

（なし）

児玉典彦（教育長）

それでは、この2社に絞って協議したいと思います。よろしいでしょうか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、この2社についてご意見をお願いします。はい、吉村委員。

吉村邦彦（教育委員）

先ほど小田委員もおっしゃっていましたが、みんなが英語を好きになるという基本方針として、4技能5領域をバランス良く統合していたのが東京書籍だったと思います。ですので、私は東京書籍がふさわしいと思います。内容的にも、言語統合型学習が充実しております、他教科との関連も含めて、多様なテーマも取り上げられています。両者とも良かったのですけれど

も、東京書籍については研究調査員の報告に、好きになる＝意欲の向上に繋がるというような調査の結果も出ています。そういったことも含めて、東京書籍の方がより優れていると感じました。以上です。

児玉典彦（教育長）

小学校の外国語科の教科書は、初めての採択になりますので、委員さん全員に意見を聞いてみたいと思います。児島委員、どうでしょう。

児島まさ子（教育委員）

私も東京書籍が良いと思いました。身近な日常生活や学校生活に関連する場面が豊富に取り入れられているということで、英語に親しみを持って学習できるのと、自分や日本について発信する題材というのも、とても魅力的だと思いました。

児玉典彦（教育長）

はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

私も東京書籍が良いかなと思いました。すべてにおいて基本的な学習事項を身に付けられるよう配慮されている点と、児童が発達段階に応じた学習展開が図られるように配慮されていたということ、そしてまた、友達や先生について知りたくなる仕掛けがあって、思考力・判断力・表現力を働かせて、言語材料を使う場面が繰り返し登場しているということで、東京書籍が良いかなと思います。

児玉典彦（教育長）

ここまで、東京書籍を推す意見が3人出ました。小田委員、どうでしょう。

小田耕一（教育長職務代理者）

最初に言いましたけれども、東京書籍が学習の流れの確かなパターンというところでは一番きちんとそれを繰り返しているように感じました。それから、さらにもう一度見てみますと、巻末に英語の発音、音声とアルファベットがまとめられていて、そこをもう一度振り返って見てみようというように授業で扱ってみると扱いやすいのではないかなという思いを持ちました。それから、付録のピクチャーディクショナリーというものだったと思いますけれども、これも小学生にとって、その入門編にとって大事かなと。それから何より薄くて子供達に学習内容も、それから、重さも負担にならないということが、外国語が始まる段階で大事かなというように思います。

児玉典彦（教育長）

今、意見をお伺いすると、全員が外国語については東京書籍ということでよろしいでしょうか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、外国語は東京書籍に決定します。

それでは、最後に特別の教科・道徳です。特別の教科・道徳については、学習指導要領が変わって随分と時間がたったので、教科書が思った以上に洗練されて使いやすくなっていると思います。その中から、どれを選ぶかということで、委員の皆さんがこれだと思う教科書を理由を併せてご発言ください。はい、藤井委員。

藤井悦子（教育委員）

光文書院と学研教育みらいを読み比べまして、光文書院の方は、多様な感じ方や考え方ができるように、教材文の下段に考えるためのポイントや、大切な見方をキャラクターが投げかける形で提示しています。そして毎時間ごとに学びを振り返り、自らの変化や成長が実感できるように工夫されていました。学研教育みらいは、一人ひとりの価値観が異なることを前提にして、他者の考えを聞いて物事を多面的・多角的に考えた上で、自分の考えとその理由を明らかにできるように学習の終わりに考えを書き込むことができるスペースが設けられています。また、光文書院の方ですが、最初に、「さあ、道徳の学習が始まります」という一文で、道徳の時間はこんな時間ですよという、最初の投げかけがとても好感が持てましたし、表紙の部分も表と裏に繋がって、学校の教室のイラストがずっと描かれております。子供達がとても喜ぶような絵が描かれているなど思いました。そして、A4の変形型を大判化した形なので、文字やイラストに余裕があつてとても読みやすかったと思います。学研教育みらいの方も、1ページ目を開いたときに見開きで、青い海という詩が出ていました。とても子供達が元気になりそうな、道徳にさっと入れるような、そんな素敵なお詩だったと思います。

児玉典彦（教育長）

今、藤井委員からは光文書院と学研教育みらいの2社を推す意見が出ました。どうでしょう。この2社に絞って協議をしいいいですか。

（はい）

児玉典彦（教育長）

それでは、これも全員にお聞きしたいと思います。はい、児島委員。

児島まさ子（教育委員）

光文書院については、問いを持つ、考える、まとめる、広げる、の4段階で構成され、授業の流れが明確です。また学研教育みらいについては、特定の価値観を押しつけないよう、冒頭に主題名を記載せず、一連のプロセスの授業展開の中で、子供が主体的に学習できるよう配慮されているのが良いと思いました。

児玉典彦（教育長）

ありがとうございました。私も学研教育みらいの良いところは、問いが1つという点です。これは、経験があまりなくても授業ができるということになりますが、その分、問いや子供達の状況によっては、うまくいかないことがあるかもしれません。光文書院は、中心発問以外にも複数の問いが記載されているので、どの間を選ぶか、どの問いを活かすかという点では、教員の力量が問われることとなります。これは教員にとっても、良い勉強になると思いますので、私としては、光文書院が良いかなと思っています。吉村委員、どうでしょう。

吉村邦彦（教育委員）

私も8社のうち2社に絞って、どれも非常に良い内容だったんですけども、光文書院と学研教育みらいで考えました。その中で、私は、光文書院が優れているというように思います。学校や地域の実態に即して、弾力的に取り扱えるように全学年40の教材が配置されています。全学年を通して、生命の尊重を重点主題にして複数時間の構成になっています。下関市の教育指導上の努力点の豊かな心の育成に資するものだというように思っております。あと、心の変容が共感できるような構成にもなっているところが非常に良いというように思います。以上です。

児玉典彦（教育長）

ありがとうございました。小田委員、どうでしょう。

小田耕一（教育長職務代理者）

皆さんのご意見をなぞるような形になりますけれども、光文書院の方は、問いを持つ、考える、まとめる、広げるという4つの段階で、どの章もまとめられているということと、それから授業展開の中に先ほど教育長がおっしゃったように、主発問をどこに置くかということを考える教員の力量を高めていくという点で言えば、そういう4つの段階を踏みながら主発問を考えて道徳の教材を読み込んでいくというところで、光文書院が今、下関市で進めている道徳の流れにも合うのではないかなというように思います。

児玉典彦（教育長）

今、全ての委員さんから、光文書院の教科書が良いのではないかという意見が出ましたが、光文書院でいいですか。

(はい)

児玉典彦（教育長）

それでは、道徳については、光文書院に決定します。

以上で全ての種目について、来年度から下関市の小学生が使用する教科用図書が決まりました。これらの教科書を用いて、児童が意欲的に学習に臨み、確かな学力をはじめとする生きる力を身につけていくことや、学びが好きな子どもの育成に繋がることを心から願っています。委員の皆様をはじめ、研究調査協議会や研究調査委員会の委員の皆様のご苦勞とご協力に感謝を申し上げます。ありがとうございました。なお、教科書採択につきましては、冒頭に申し上げましたとおり、8月31日まで非公開となっておりますので、教育委員の皆様をはじめ、今日の会議に参加いただいた皆様には情報管理につきまして、どうぞよろしく申し上げます。以上で議案第52号の審議を終わります。

《非公開部分終わり》

【閉会の宣告】

児玉典彦(教育長)

それでは、本日の教育委員会定例会を終了したいと思います。皆さんお疲れ様でした。

(お疲れ様でした)

署名

教育長

署名委員

署名委員

作成職員